

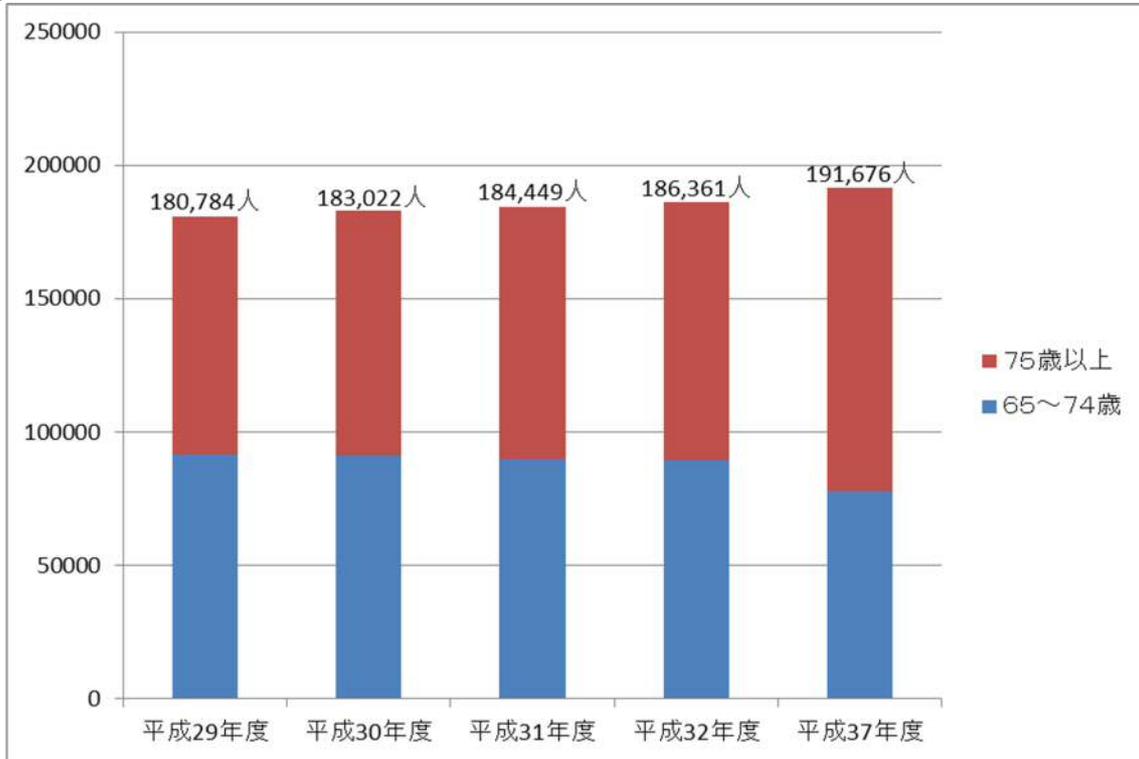
## Ⅱ 岡山市の高齢者の現状

### 1 高齢者人口の推移と将来推計

平成29年10月1日の岡山市の人口は約70.9万人。

65歳以上の高齢者人口は約18.1万人、高齢化率は25.5%です。

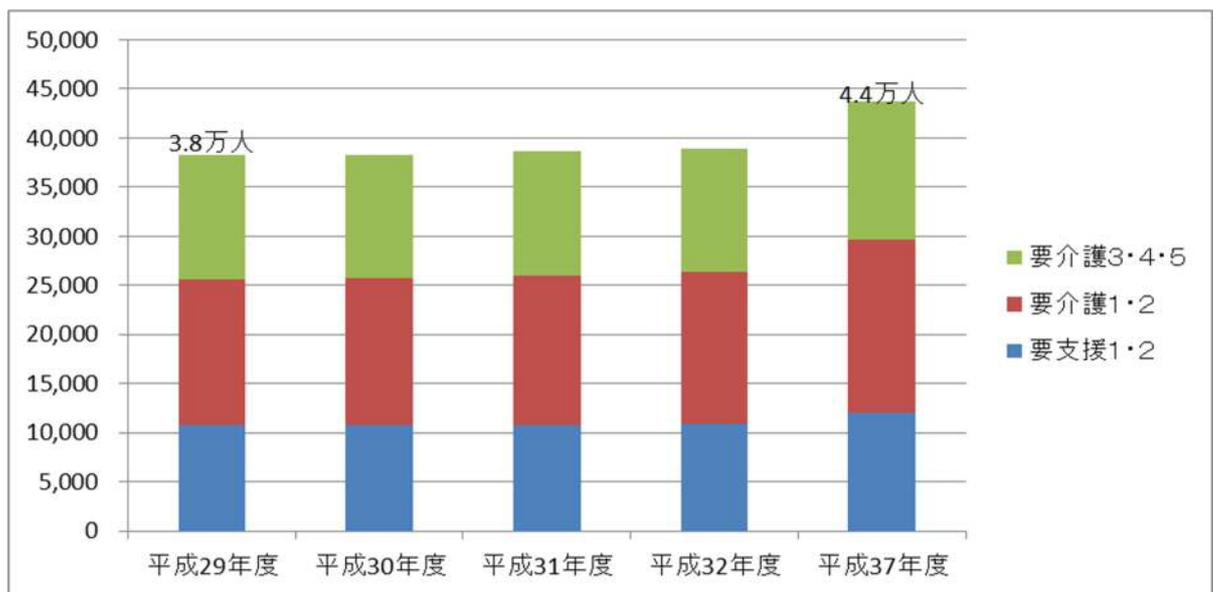
(人)



各年度10月1日時点住民登録人口。平成30年度以降は岡山市人口ビジョンの将来推計人口。

### 2 要介護認定者数の推計

(人)



各年度10月1日時点要介護認定者数。平成30年度以降は岡山市人口ビジョンの将来推計人口に平成29年10月1日時点での男女別年齢階級別要介護度認定割合を積算して算出。

### 3 岡山市の認知症高齢者の状況

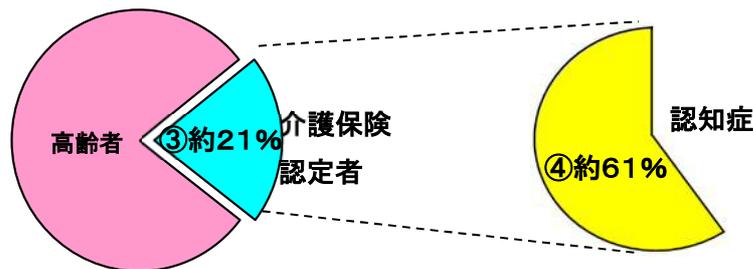
介護保険認定者のうち「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者数は、約2.3万人です。また、団塊の世代が75歳になる2025年（平成37年）には、約3.4万人に達する見込みです。  
（平成29年10月1日現在）

①岡山市人口	708,853人
②高齢者（65歳以上）人口	180,784人（25.5%）
③介護保険認定高齢者（65歳以上）人口	38,286人（高齢者の内21.2%）
④介護保険認定された、高齢者（65歳以上）で「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の人口	23,271人 （介護保険認定高齢者の内60.8%）
⑤若年性認知症人口（介護保険認定された40～64歳の者で「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の者）	336人

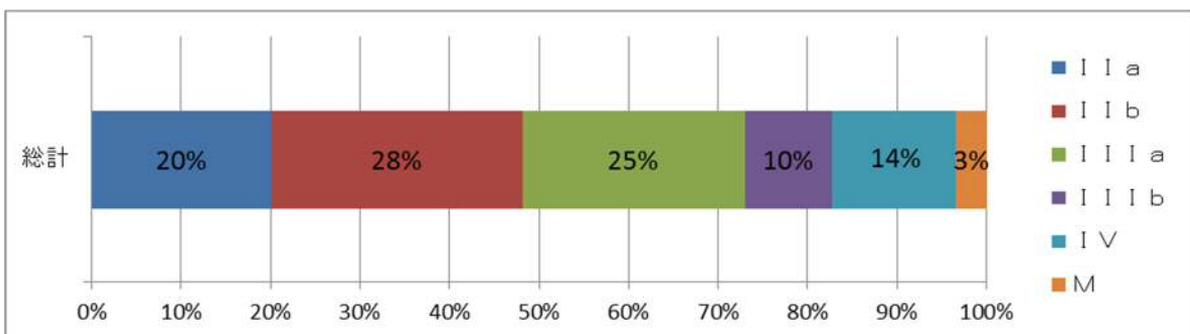
（出典）

①②「住民基本台帳調査」 ③「介護保険事業状況報告」

④⑤岡山市の保有する要介護認定データをもとに「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者人数を算出  
（要介護認定を受けていない人中、認知症状がある人は含まれていない）



介護保険認定者の内「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上（平成29年10月1日現在）

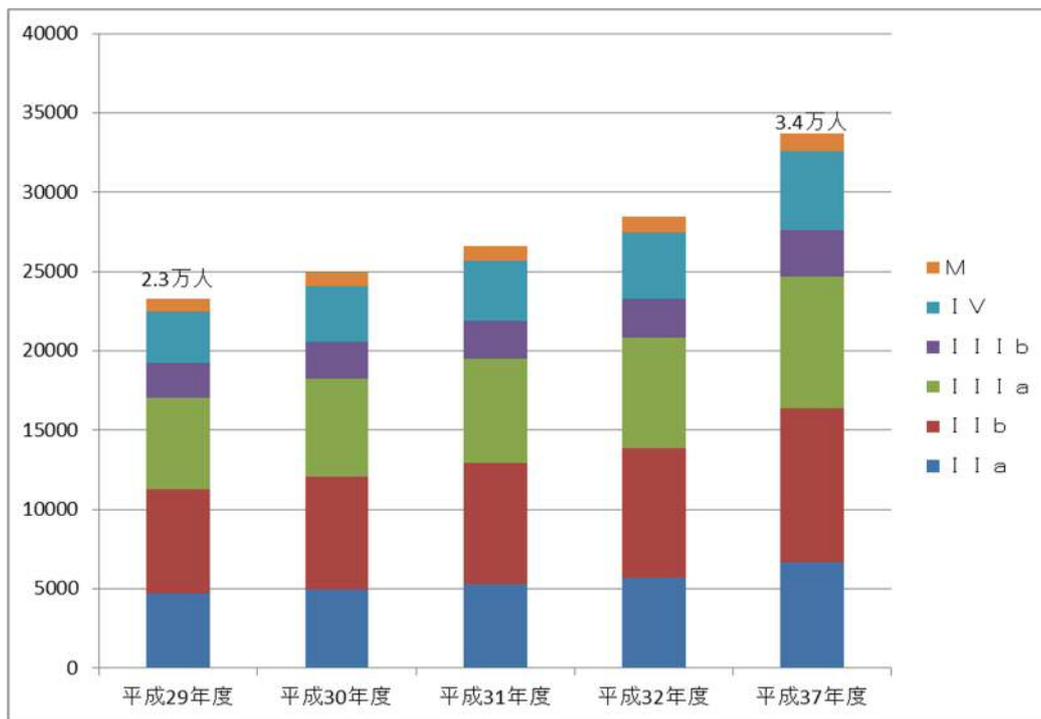


#### 「認知症高齢者の日常生活自立度」

- Ⅱ：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる
  - Ⅱ a：家庭外で上記Ⅱの状態が見られる（道に迷うなど）
  - Ⅱ b：家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる（1人で留守番ができないなど）
- Ⅲ：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする（着替え、排便排尿、食事が上手にできないなど）
  - Ⅲ a：日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる
  - Ⅲ b：夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる
- Ⅳ：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
- M：専門治療の必要性がある（遷延性意識障害等あり）著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする（遷延性意識障害(重度の昏睡状態)等あり)

#### 4 認知症（日常生活自立度Ⅱ以上）の推計

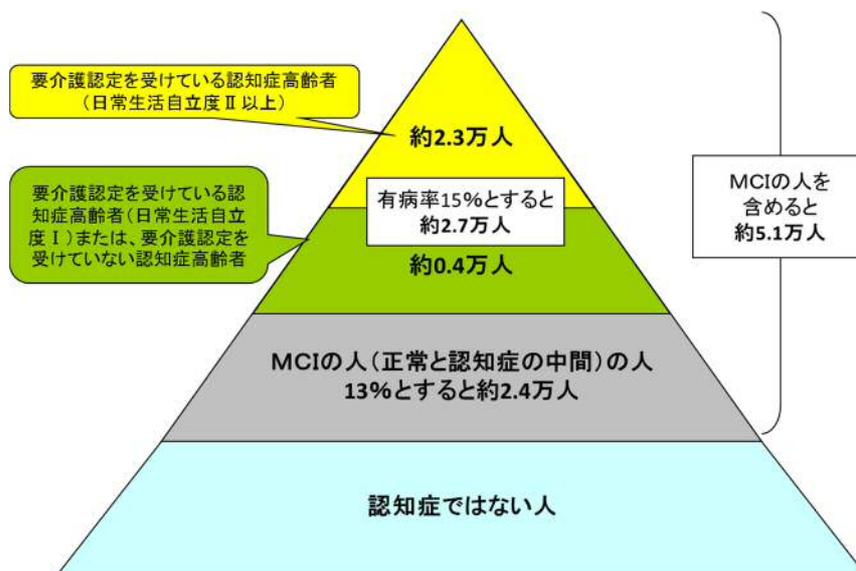
(人)



各年度10月1日時点住民登録人口。2020年度以降は岡山市人口ビジョンの将来推計人口に平成29年10月1日時点での男女別年齢階級別要介護認定割合を積算して算出。

さらに、厚生労働科学研究「認知症有病率等調査」によると、「65歳以上の高齢者について認知症有病率推定値15%、また、MCI（正常でもない、認知症でもない（正常と認知症の間）状態の者）の有病率推定値13%（平成22年）」と推計している。岡山市の高齢者数よりその推定値をもとに算出すると、岡山市の認知症有病者数は約2.7万人、MCI有病者数は約2.4万人と推計される。

岡山市の認知症高齢者の推定（平成29年10月1日時点）



厚生労働省研究班の「都市部における認知症生活機能障害への対応」(平成25年5月)より、認知症有病率推定値、MCI有病率推定値を引用し、平成29年10月1日時点人口を積算し算出

\*MCI：軽度認知障害。認知症の予備軍といわれるが、すべての人が認知症になるわけではない。